

**令和5年10月17日**

**鳥取県知事定例記者会見**

## 過去最大の復興予算（367億円）10月13日に成立 10月6日に激甚災害早期指定（10月12日公布・施行）

本日11:30～ 台風7号災害  
復旧・復興本部会議(第5回)

### ◆ 道路・河川等の復旧・復興

- 被災箇所については、応急復旧により日常生活に必要なインフラ機能を確保済。
- 災害復旧の緊急性が高く査定前着手が可能な工事については、9月から着手済。
- その他は、10月23日から12月8日まで災害査定を受け、復旧工事の発注を11月頃から本格化。
- 私都川の改良復旧は、国と9月から事前協議を開始。

### ◆ 地域交通の再開

- 10月16日より日ノ丸路線バスの佐治線全便が通常運行再開。  
⇒概ね全ての路線で通常運行中。

### ◆ 台風7号の教訓を踏まえた対策の調査検討

- 「災害激甚化防災機能向上専門家調査事業」の予算成立により、災害の激甚化を踏まえたインフラの機能強化等について、鳥取大学教授からの意見を伺いながら調査検討をスタート。
- (例) ○佐治川流域の安全確保、インフラ機能強化  
○創造的復旧に向けた工法検討 ○農業用水路の応急対応

### ◆ 農林業関連施設の復旧・復興

- 10月16日より農地・農業用施設の災害査定を順次開始。12月22日まで延べ24班体制で実施予定。
- 災害査定までに用水確保を必要とする地域では、応急工事により対応。

鳥取市河原町  
「大淵用水」



排土による  
通水確保



### ◆ ふるさと納税の受付（12月末まで）

112,697,083円（342件、13団体） <10月15日現在>

### ◆ 境港の災害時海上輸送応援協定締結（10月25日）

- 陸上輸送寸断時にあっても、日本海側RORO船定期航路を活用した海上輸送応援により、サプライチェーンを維持。
- 災害時の物資輸送・物流専門家の派遣等に係る協力体制を構築。

近海郵船(株)、日本通運(株)山陰支店、NX境港海陸(株) 等

# 令和6年度当初予算編成・政策戦略会議キックオフ

## 10/24「当初予算編成・政策戦略会議」開催

### <当初予算編成・政策戦略の方向性>

- 台風7号からの創造的復興や「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」を成功に導くとともに、「輝く鳥取県」の創造に向け、部局横断でチャレンジ
- 現場の意見を積極的に取り入れるとともに、「とっとり若者活躍局」など若者の柔軟な発想で政策を再構成
- ✓ 国の「総合経済対策」を注視し、本県物価高対策等を迅速に検討（11月議会での提案も視野）
- ✓ 予算編成作業の簡素化など、働き方改革に十分留意

### <当初予算編成の前提となる県財政の状況>

- R6 地方財政に係る総務省概算要求では、地方税等の伸びを反映し、実質的な地方交付税は▲0.1兆円（▲0.5%）となるなど、本県にとっては楽観できない状況
- 当初予算編成にあたっては、行財政改革の果実を最大限活用し、県内経済・暮らしを支えるための重要施策を積極計上

#### 【財政誘導目標に掲げてきた指標に関する行財政改革の成果】

区分	R4決算	行財政改革の果実	目標値（R8年度）
財政調整型基金残高	274億円	16年間基金の取崩しを抑制（H19当初：311億円）	200億円
実質的な県債残高	3,512億円	16年間で約1,200億円減少（H18決算：4,711億円）	3,800億円

# 買物環境確保に向けた県、市町村、地域一体となった対応

9/30までに東中部のトスク・Aコープ等全16店舗中15店舗が閉店(Aコープトピア店のみR6.3閉店予定)

## 買物環境確保対策は次のステージへ

◆既存事業者や個人による店舗承継など新たな動きがあり、県も買物環境確保推進交付金(予算額:1億円、補助率:1/2)の活用含め、市町村と一緒に柔軟な対応を行う。

### 店舗の状況・市町の最近の動き

【若桜店・ちづ店】⇒ エスマートの承継に向けてJAが設備や従業員など交渉中

- 若桜町では「フードセンター小嶋」がJAの移動販売を承継(10月16日開始)
- 両町とも店舗改修経費等の支援を実施予定(予算を確保)
- 町が空白対策を実施(若桜町:町外店舗へ買物送迎バスの運行、智頭町:既存の町内AI乗合タクシーの買物利用)



【用瀬店・丹比店】⇒ JAが複数の企業と引継交渉中

- 市町が空白対策を実施(鳥取市:共助交通が最寄りスーパーまで運行延伸、移動販売の拡充、八頭町:町内店舗へ買物送迎バスの運行、移動販売の拡充)

【フレッシュライフいわみ】⇒ 移動手段と移動販売で買物環境を確保

- 「創美(そうび)」がJAの移動販売を承継(10月中目途)
- 岩美町が町営バスのルート変更等による「買物便」の増便

【生活センター竹田】⇒ 地元飲食店を経営する藤井克孝氏が店舗開設に向けて準備中

- 地域や行政とも相談しながら店舗規模や事業内容などを検討

【県西部Aコープ】⇒ JAが店舗承継先を検討中

- R6.1までの閉店に向け、地域住民が買物に困らないよう店舗承継先探し

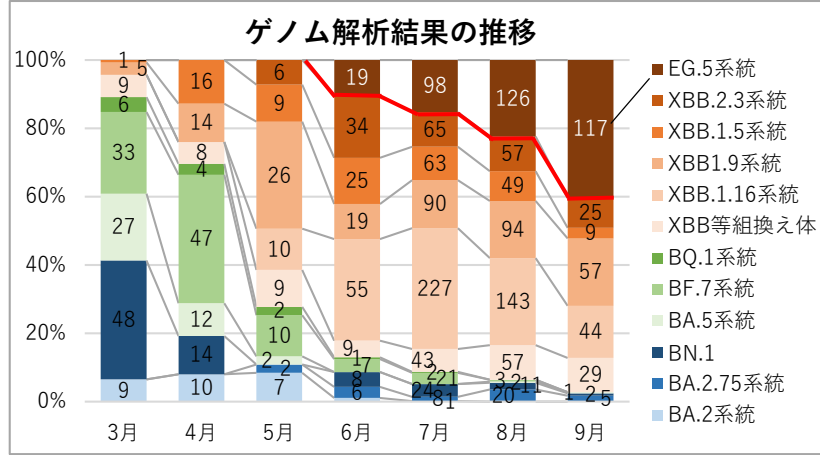
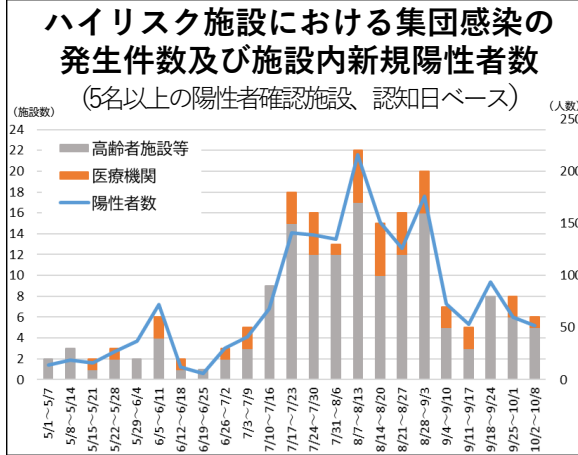
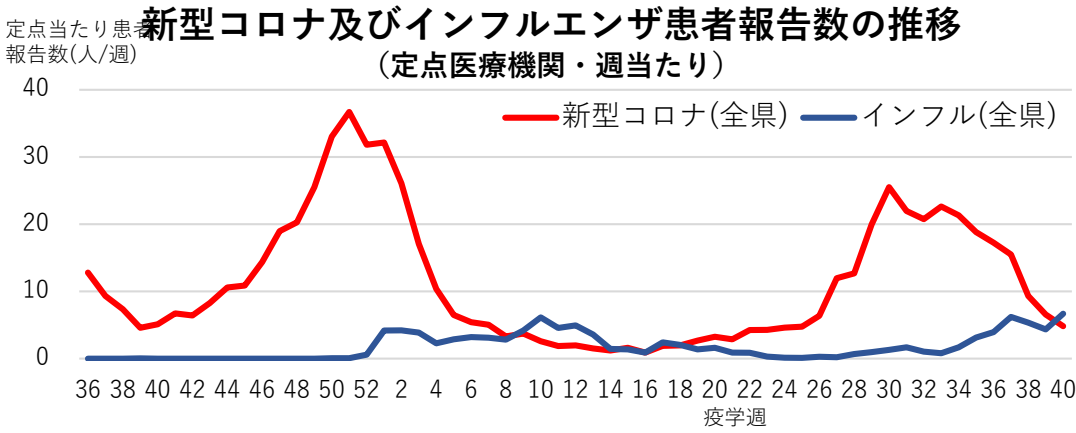


### 県の対応

- ◆ 市町村の買物環境確保計画に基づく事業を包括的・弾力的に財政支援を実施
- ◆ JAや市町の間に入り、承継交渉をサポート
- ◆ 地域・個人の相談にも柔軟に対応
- ◆ 県立ハローワーク等がJAや事業者と連携して、従業員の就業支援等を実施

# 新型コロナ等の感染症発生動向

- **新型コロナ**は、7月下旬をピークに**減少傾向** → **今夏の流行は徐々に収束**
- **インフルエンザ**は、今春以降も一定の患者報告が継続し、**8月下旬から増加傾向** → **今冬は例年に比べ感染拡大が早まる可能性**
- その他、**手足口病**(8/9~)、**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(10/4~)について、**県内全域に警報を発令中**



## 新型コロナ感染症患者の入院受入体制(病床確保)

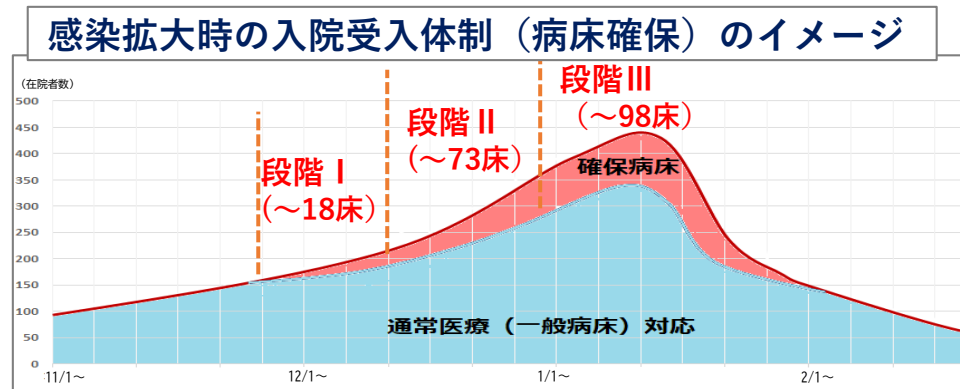
### 【10月】

- 即応病床数18床を確保 (経過措置)  
⇒ 現在、**入院患者のうち約3/4は、一般病床で入院。混乱なく通常医療で対応中**

### 【11月以降】

- **通常医療での対応を基本**
- **感染拡大時に、段階に応じて病床を確保**

段階	移行基準(目安)	即応病床数(上限目安)
Ⅲ	在院者数が <b>350人</b> に達した時 (第8波の最大在院者数の8割)	~98床
Ⅱ	在院者数が <b>219人</b> に達した時 (第8波の最大在院者数×1/2)	~73床
Ⅰ	在院者数が <b>146人</b> に達した時 (第8波の最大在院者数×1/3)	~18床
0	即応病床(確保要請病床)によらない形で対応	



## 感染拡大防止策の徹底

- 重症化リスクの高い方が入院・入所する医療機関、高齢者施設等での感染防止  
⇒ PCR検査の支援を継続
- 高齢者施設等における医療機関との連携によるコロナ患者の早期発見、早期投薬による重症化予防

# 海外との往来活性化へ！

## 米子香港便(香港航空)

### 12月～2月季節定期運航に向け調整中

- 1 運航日：令和5年12月18日～令和6年2月26日
- 2 運航区間：香港→米子、米子→香港
- 3 運航回数：週4便(月・水・金・日)
- 4 使用機材：A320-200(174人乗り)



⇒米子香港季節定期運航就航により、香港を基軸に、全世界からの誘客促進・全世界へ魅力発信

## 本県魅力をNYから世界に発信・バーモント州5周年事業

### 米国バーモント州との姉妹提携5周年記念事業(バーモント州)

【主な公務：10/18～10/19】

- ・スコット・バーモント州知事とともに姉妹提携5周年行事レセプション、バーモント大学メディカルセンター等の交流も

### 食・観光の魅力を世界に向けて発信(ニューヨーク)

- ・トップセールス…森美樹夫大使と共同で総領事公邸において県産の食(サーモン、アジ)、星空舞、日本酒)と観光を紹介するレセプションを開催
- ・JNTOはじめ観光・経済関係団体と協議



2018年に姉妹提携締結(右：スコット知事)

## 米子ソウル便(エアソウル)

### 10/25から週3便(日・水・金)で約4年ぶりに運航再開！

#### ＜運航概要＞

- 1 運航時間：仁川(13:20)→米子(14:50)  
米子(15:50)→仁川(17:40)
- 2 使用機材：A321-200(195人乗り)



### 運航再開記念行事(10/25)

- ・エアソウル 趙代表をお迎えし、到着客の歓迎対応と運航再開記念セレモニー等を開催。

### 県民訪問促進派遣団(10/25～27)

- ・日韓間の民間交流を促進するため、日韓親善協会を中心とした県民訪問団を派遣(訪問先：江原特別自治道庁、韓国観光公社)

## 台湾チャーター便(中華航空)

### コロナ後、初の鳥取砂丘コナン空港への台湾チャーター就航

#### ＜運航概要＞

- 1 運航日：10月28日(土)、11月1日(水)、5日(日)
- 2 運航区間：台北桃園空港－鳥取砂丘コナン空港
- 3 販売旅行社：鳳凰旅行社
- 4 使用機材：B737-800(158人乗り)



⇒台湾での知名度向上・チャーター実績を積み重ねることで1日も早い県内空港への台湾からの定期便就航を実現

# 境港コンテナ航路一部改編 (10月下旬)

- ・韓中航路が週2便化 (1便→2便)
- ・中国内寄港地が上海、寧波、青島、天津に変更 (2港→4港)
- ・南星 (ナムスン) 海運による集荷開始

## 北東アジア産業技術 フォーラム開催

- ◆ 韓国江原特別自治道・中国吉林省・鳥取県の3地域で毎年巡回開催
- ・日時：令和5年10月26日
- ・場所：米子JNH Convention Center
- ※江原特別自治道訪問団は、米子ソウル便再開第一便で来県

## 6年ぶりに日韓知事会議 (第7回) 開催

- ・日時：令和5年11月1日
- ・場所：山梨県富士河口湖町
- ・参加：日本 鳥取県など14府県  
韓国 江原特別自治道など5市道
- ・内容：「日韓の自治体間の協力」  
「少子高齢化」について意見交換
- ・鳥取県 江原特別自治道 両県道知事会議  
金知事と翌11月2日に東京都内で実施予定

## 海外における県産品プロモーション 輝太郎柿を始め、 鳥取の食の魅力をPR!

### ○ 輝太郎柿プロモーション

#### ▼台湾

- ・台北市内の高級スーパー(3店舗)で試食販売を実施 (10/19~22)
- ・(初)「TSUTAYA WIREDCAFÉ (3店) で輝太郎柿メニューフェアを開催 (10/18~31)



輝太郎柿メニューの一例

#### ▼タイ

- ・「サンフレッシュ・タイランド」でPR販売(10/18~31)  
サイアム高島屋店、サイアムバラゴン店内の高級果物店
- ・マンダリンオリエンタルホテル内レストランでの試食提供

- 鳥取県物産店in裕毛屋(台湾)  
裕毛屋公益店で開催(10/27~29)  
輝太郎柿、星空舞、  
農・水産加工品 など  
37品目を販売予定



8/28トップセールス

## 2024パリ五輪日本代表内定 杭州アジア競技大会銅メダル おめでとう! 三上紗也可選手 (米子市出身)



### 10月24日 (火)

- スポーツ顕彰授与
- パリ五輪代表選出を祝した横断幕掲揚
- ジュニアアスリートからの祝福・応援メッセージ

# 島根原子力発電所への対応

## 島根原発1号機廃止措置計画の変更

10月13日（金）中国電力へ回答

### ◆廃止措置計画変更の了解

- 1 廃止措置の**全体計画**及び  
原子炉本体周辺設備等解体撤去期間  
**（第2段階）の廃止措置の実施に限り了解する。**



### ◆前提条件

- 2 廃止措置作業について、関係法令及び安全協定等を遵守し、安全かつ確実に廃炉作業を終えること。  
また、解体撤去作業を適切に行い、**作業員の被ばく低減につなげること。**
- 3 廃止措置計画の変更については、慎重に検討して鳥取県等と協議を行うこと。  
また、**県民の漠然とした不安に向き合い、県民に寄り添った対応を心掛けること。**
- 4 廃止措置の実施状況について分かりやすく丁寧な説明を行うこと。
- 5 地元への情報提供、人的な対応に対する不断の充実・強化、  
原子力安全文化の醸成、自主的な安全対策、防災対策への協力等、  
責任を持って万全な原子力安全対策を行うこと。
- 6 **使用済燃料の全量搬出と搬出まで安全な貯蔵を行うこと。**
- 7 放射性廃棄物の適切かつ確実な管理及び処分を適正に行うこと。  
**クリアランス制度対象物を含めて本県に持ち込まないこと。**
- 8 放射性物質の漏えい防止対策に万全を期すこと。
- 9 **廃止措置の実施に当たっては、本県地元企業を活用すること。**

10月17日（火）国に要望

### ◆中国電力への前提条件の履行の監督・指導に加え、次を要請

- ・廃止措置計画の厳格な審査
- ・廃止措置の厳しい検査と監視
- ・高レベル放射性廃棄物の最終処分、核燃料サイクルの体制確立の早期の解決
- ・周辺自治体に対する防災対策費用の財源措置

### ◆要望省庁

<経済産業省>

石井 拓 政務官

<原子力規制委員会>

片山 啓 長官

<内閣府（原子力防災）>

滝沢 求 副大臣

### 原子力防災訓練（島根原子力発電所対応）

- 図上訓練：10月19日（木）本部等運営訓練
- 実動訓練：11月 4日（土）原子力防災支援基地運用等訓練  
11月 5日（日）住民避難訓練等

- ① **新** 原子力防災支援基地の運用手順の確認（11/4）
- ② 多様な手段による住民避難訓練（11/5）  
約230名の住民が、バス・自家用車・ヘリ等による避難
- ③ **新** 避難受入先市町による避難者受入れ手順の確認（11/5）
- ④ 交通障害発生時の対応手順の確認（10/19、11/5）



# 認知症の方の行方不明に関する対応強化

行き先が分からなくなった認知症の方の外出に対し、早期の発見につなげるため「**認知症高齢者等行方不明者に係る対応ガイドライン**」の見直しを行い、対応の強化を図ります。

## 【認知症高齢者等SOS・サポートネットワーク推進連絡会議】

10月20日ガイドライン見直しを協議

- ① **これまで運用上対象となっていなかった若年性認知症者(65歳未満)についてもガイドラインを適用。**  
⇒行方不明届により65歳未満の方でも認知症の有無を確認し、対応することを明記
- ② **他県との迅速な連携体制強化 など**  
(構成員)鳥取県警、市町村、鳥取県

## 認知症高齢者等行方不明者に係る対応ガイドライン

- ①認知症高齢者(65歳以上)の行方不明者発生
- ②家族からの届出を受けて県警は居住市町村、交通機関等へ情報提供
- ③**24時間経過後**県警から鳥取県長寿社会課を通じて県内全市町村マスコミへ情報提供
- ④**72時間経過後**鳥取県は近隣県へ情報提供



あらかわ やすこ

**荒川 泰子さん 59歳**

○米子市にお住いの若年性認知症の方が、令和5年8月8日以降行方不明となり、現在も見つかっていません。  
情報をお持ちの方は、お知らせください。

荒川泰子さんの情報も含め、認知症の方の行方不明に関し、相談ダイヤル、ホームページを本日開設する。

**認知症高齢者等行方不明者相談ダイヤル**

**0857-26-7177 ホームページ ⇒**

※とりネットで「**認知症高齢者の行方不明に関する情報及び相談**」で検索！



# ねんりんピックはばたけ鳥取2024実施本部の設立及び体制強化

ねんりんピック大会旗が鳥取へ！

愛媛大会フィナーレ(10/31)で愛媛県から鳥取県へ大会旗が引き継がれます



- ① **ねんりんピックはばたけ鳥取2024**(R6.10.19~22)の開催に向け、**組織体制を強化**  
※地域社会振興部全職員及び関係部局職員への兼務発令、専属職員2名(課長級、課長補佐級)増員により人員体制を強化
- ② 県庁に**実施本部立上げ**(10/24)
- ③ **全庁組織体制へ移行**(11/1)

## 実施本部

- 本部長 知事
- 副本部長 副知事、統轄監
- 統括部長 地域社会振興部長
- 統括副部長 スポーツ振興局長
- 参与 各部長、総合事務所長
- [7班体制]
  - 総務・広報班
  - おもてなし班
  - 市町村連絡調整班
  - イベント交流班 式典班
  - 輸送交通班 医療衛生班

(現行)  
総務広報  
競技宿泊輸送  
式典事業

※兼務も含め全庁体制へ

### ◆**プレ大会の開催**・全29種目のうち24種目実施(9種目実施済)

※今後15種目実施予定

囲碁(10/22智頭町)、パタンク(10/22三朝町)、バウンドテニス(10/22江府町)、民謡(10/29日南町)、将棋(11/4八頭町)、バウンスボール(11/12倉吉市)、ソフトバレーボール(11/12境港市)、俳句(11/19鳥取市) など

### ◆**大会旗を“バトン”に全市町村でリレーイベント**

“バトン”の披露に併せて、地域のショッピングセンターや駅など住民が集まる場で、地元開催競技や選手紹介など大会をPRするリレーイベントを実施

### ◆**「ようこそようこそ鳥取運動」をスタート**

ボランティアや県内団体によるクリーンアップ活動や手作り歓迎装飾の製作等

### ◆**県内外に向けた文化・観光等の魅力発信の展開**

来県選手団の観光ニーズを踏まえた短時間での観光周遊ツアーや、長く滞在し鳥取の自然や歴史・文化を堪能いただくアドベンチャーツーリズムの造成・情報発信

# 第3回日本伐木チャンピオンシップin鳥取

チェーンソーの「安全性・正確さ・スピード」を競う全国大会を開催、『林業』の新たな魅力を鳥取県から発信！

開催日 10月28日、10月29日

主催 日本伐木チャンピオンシップin鳥取実行委員会

場所 大山楨原駐車場(大山町赤松上楨原)

種目 伐倒、枝払い等5種目

参加選手 92名(うち県内26名): プロ40名、ビギナー22名、アカデミー・ジュニア30名(新設:全国10校)

(県内参加校:にちなん中国山地林業アカデミー、智頭農林高等学校、倉吉農業高等学校)



## 第4回Satoyama実践者交流会

「里山×グローバル」をテーマに  
基調講演、パネルディスカッション等を  
Japan Timesと共催で実施!!

- 10月28日(土) 実践者交流会(場所:ホテルニューオータニ鳥取)  
◎基調講演(藻谷浩介氏)、パネルディスカッション、活動発表
- 10月29日(日) スタディツアー(現地視察)  
※大山町(環境保護活動)・三朝町(三徳山など魅力発信)等



【基調講演】  
藻谷浩介氏  
日本総合研究所  
主席研究員

## 初めての鳥取県スーパー工業士認定

AI等を活用できる次世代ものづくり人材「鳥取県スーパー工業士」誕生！  
10月26日(木) 県立図書館 認定者18名(鳥取工業高校、米子工業高校3年生)

R4.10~  
AIシステム/データサイエンス基礎

R5.7~8 総括講座  
「AI・ロボット演習」

県の  
認定

地域のものづくり  
人材として成長

← スーパー工業士認定プログラム修了 →



鳥取大学での総括講座「AI実装演習」(R5.7~8)

## 冬の味覚の王様 松葉がに漁の解禁！

### ★ズワイガニの漁期

- 松葉がに(雄) 11月6日(月)~3月20日(水)
- 若松葉がに(雄) 2月1日(木)~2月29日(木)
- 親がに11月6日(月)~12月31日(日)

